

月潟まつり ~角兵衛地蔵尊祭~

越後月潟角兵衛獅子

鳥毛の付いた獅子頭をかぶり、縞のもんぺ姿で演技する子どもたち。角兵衛獅子の舞は、南区月潟地区に伝わる伝統芸能です。

角兵衛獅子の起りは古く、いつの時代かは定かではありません。発祥については、二つの言い伝えが残っています。

一つは、「常陸の国の住人角兵衛が、月潟の地に移り住んだものの、何者かに殺された。角兵衛は殺される時、殺害者の足の指をかみ切った。残された二人の息子は、大衆の中で逆立ちすることを思いつき、『あんよ(足)を上にして、あんよの指のないものを、気をつけて見れ』と歌いはやし、かたきをたずねて、諸国を巡り歩いた」というもの。もう一つは、「中ノ口川沿いの沼地で、凶作続きだった月潟の地を憂いた農民角兵衛が、子どもたちに獅子踊りの芸を仕込み、生活救済のため、近村を巡業させた」というものです。いずれも真偽は定かではありません。

江戸時代には、春の風物詩として隆盛を極めた角兵衛獅子も、明治時代に入ると、幼童による旅かせぎとして社会の目が存続を許さず、徐々に衰退していきました。

昭和11年、角兵衛獅子保存会が結成され、元月潟村長青柳良太郎氏らの尽力により復活を遂げます。昭和47年には天皇・皇后両陛下の御前でも演技を行い、立派な伝統芸能として認知されるようになりました。

今は、初夏の月潟まつりなどで角兵衛獅子の舞いが披露され、可憐な獅子たちの姿を見ることができます。

角兵衛獅子は、平成25年4月15日新潟市無形民俗文化財に指定されました。

参考：角兵衛獅子保存会「越後月潟角兵衛獅子の由来」
旧月潟村「月潟村誌」「月潟村閉村記念誌」



角兵衛獅子の舞「上下二段の腰だめ」

角兵衛地蔵尊

昔より角兵衛獅子の一党が芸芸上達・道中安全を祈願し、守護尊としたのが角兵衛地蔵尊です。全国巡業中の全てが6月23日宵宮から24日、25日に帰郷し、その芸能を競演奉納して尊霊を慰めるようになりました(現在は、月潟まつりに併せて鎮守白山神社境内で演技奉納されています)。

月潟まつり(角兵衛地蔵尊祭) 地図P3 B-5

期日	6月第4日曜日
会場	月潟白山神社境内 月潟商店街(歩行者天国)
開催内容	子ども山車行列、民謡流し 月潟小マーチングパレード 月潟太鼓演技奉納 角兵衛獅子の舞演技奉納 他

※舞の公開：同日午後



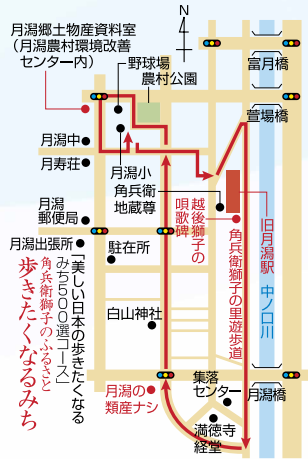
角兵衛獅子の里遊歩道 地図P3 C-5

平成11年4月まで運行していた新潟電鉄の跡地を遊歩道にしたもの。「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選ばれています。

全長2.2kmのコースには、旧月潟駅の駅舎や電鉄車両(愛称:かぼちゃ電車)、角兵衛獅子の守護尊「角兵衛地蔵尊」、美空ひばりさんが映画で歌った「越後獅子の唄」の歌碑などがあります。コース両脇にはたくさんの桜や高・低木が植栽されています。



かぼちゃ電車



遊歩道

南区のイベント・まつり

■問い合わせ/
南区役所産業振興課商工観光推進室
TEL 025-372-6505

風と大地のめぐみ ~南区風フェスティバル & 産業まつり~

白根の大風や巻風、さまざまなユニークな風など、普段触る機会の少ない風を見て、揚げることができます。また、農産物の試食販売・詰め放題など、南区の秋の味覚を楽しむことができる催しがいっぱいです。

期日	10月上旬 午前9時30分~午後3時
会場	白根総合公園内多目的広場・催し物広場ほか 地図P3 D-4
開催内容	○大風揚げ大会 ○飲食店 ○農産物販売 ○風プレゼント ○大風と歴史の館無料開放~風合戦立体映像など~ ○催し物会場~総踊り・郷土芸能ほか~ ○フリーマーケット ほか



月潟大道芸フェスティバル

大道芸人たちによるストリートパフォーマンスや農産物の即売会。月潟農村環境改善センターでは角兵衛獅子の舞の演技が披露されます。

期日	9月下旬 午前10時30分~午後5時
会場	月潟商店街他 地図P3 B-5
開催内容	○オープニングセレモニー ○ストリートパフォーマンス ○角兵衛獅子の舞 ○特産品プレゼント大抽選会・フリーマーケット ○飲食コーナー、特産品販売コーナーほか



新飯田まつり

歴史と伝統ある「新飯田まつり」。大祭では、神楽舞をはじめ、大名行列や稚児行列など見どころたっぷり。みこしを神社に奉納する勇壮な『舞い込み』では新飯田魂が熱くぶつかり合います。

期日	6月中旬(金曜日:前夜祭)
会場	新飯田商店街およびその周辺 地図P3 B-7
開催内容	○小学生鼓笛行進 ○小川連中の神楽舞と郷土芸能 ○大名行列、稚児行列、みこし行列 町内一巡 ○みこし舞い込み(町神明宮境内)



南区の伝統芸能 ~各地で受け継がれる技の数々~

獅子舞・神楽舞

【白根の獅子舞】

4人で8本足の獅子舞は全国でもまれ。江戸時代に伊勢の芸能が伝わったといわれています。

【吉田家神楽】

岩戸神楽の系統にある古式ゆかしい優雅な舞。

【西白根神楽舞】

獅子神楽の系統で、白根神社の秋祭りなどで奉納されます。

【茨曾根太々神楽】

出雲大社から京都を経て伝えられたといわれています。



新飯田浜おけさ

新飯田地区の小川連中が継承。新飯田まつりの大祭などで踊りを披露します。



臼井棒踊り

4人1組で棒を持って踊ります。100年以上前、豊作祈願や新築祝いなどのときに踊られていたといわれています。

